

# 笠岡市教育委員会 11月定例会 会議録

1 開会年月日	令和5年11月21日(火) 午後6時30分
2 場 所	笠岡市教育委員会会議室
3 出席委員等の氏名	教育長 岡田 達也 委員 石井 啓弉 藤谷 幸弘 山下 敬広 東山 琴子
4 欠席委員の氏名	なし
5 会議に出席した者の職・氏名	教育部長 森山 一成 教育総務課長 松尾 千鶴 学校教育課参事 後藤 嘉孝 生涯学習課長 石井 善子 スポーツ推進課長 土屋 武之 給食センター所長 宮 恭子 教育総務課課長補佐 藤代 幸弘
6 付議案件及び議決状況	報告第8号 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について  協議報告事項 別紙のとおり
7 会議の状況	別紙のとおり
8 閉会年月日	令和5年11月21日(火) 午後8時20分

議事録署名委員 教育委員 石井 啓弉

教育委員 山下 敬広

会議録を調製した職員 松尾 千鶴

## 会 議 の 状 況

### 1 開 会 （岡田教育長）

### 2 前回議事録（臨時会）の報告 （藤代課長補佐）

令和5年10月臨時会

令和5年10月26日（木）午後6時47分から，教育委員会教育長室で開催

出席者は，石井委員，藤谷委員，東山委員

審議案件は1議案

・議案第27号 教職員の懲戒処分について

閉会は，同日の午後7時00分

### 3 教育長の報告（挨拶）

改めまして，こんばんは。まず，本日は石井委員が最後の定例会となります。平成27年から教育委員になっていただいて8年間ということで，本当にありがとうございました。この後，簡単な会を設けていますので，その際にまたお礼を申し上げたいと思います。

#### （1）博報教育賞の文部科学大臣表彰について

新聞報道等でもご存知だと思いますが，神内小学校が，博報堂が主催している博報賞の文部科学大臣賞を受けられました。これは全国で3校，当然岡山県では1校です。内容はまた見ていただけたらと思うのですが，博報堂の教育賞のホームページにあるのですが，これは今，笠岡市内の全ての小・中学校で進めている地域学，地域探求を行ったその成果が書かれてあって，それでめでたく賞を受ける事になりました。先日校長先生と，中心になった指導教諭，そして笠岡市教育委員会の職員が，授賞式に参加させていただきました。本当に素晴らしい実践が認められたので，本当に私達も嬉しく思います。子ども達の頑張った取組が評価されており，当然それは教師のサポートがあるのですが，やはり子ども達が主体的に今学びに向かっているなということを感じています。

#### （2）小学校の学芸会について

先週末，多くの学校で開かれ，私もある学校の学芸会に参加をさせていただきました。私が現場にいた時は，学芸会と言ったら劇をするというイメージだったのですが，最近の学芸会は，子ども達が学んだ事を発表するという学習発表会的に多くなっています。それも地域探究がほとんどです。私が参加した学校では，最初から最後まで見させていただいたのですが，本当に感心しました。1年生から6年生

までが、本当に自分達が課題意識を持って取り組んで、ちゃんとそこに行って調べて、関係の方々に来ていただいて話を聞いたり、または各自・各グループで取材に行ったりして集めたものが、成果として学習発表会の中で出ていたので、まず驚きました。また、私の頃は模造紙に書いて発表していたのですが、今の子ども達はプレゼン形式で、タブレットを持って発表するのです。1年生は劇で「おむすびころりん」だったのですが、場面設定は笠岡に近い感じで、最初は劇っぽいのですが、穴におむすびが転がっていて、それをおじいさんが取りに行ってから、生活科で学習した学びがそこで展開されるのです。「せっかくおじいさんが来たのだから紹介しよう」とか言って、学校の良いところ見つけをしていました。つまりどの学年も、題名は劇のように思いますが、地域学の意識を持って、身近なところから地域にという風になっていて、非常に感動しました。6年生は150周年記念になるということで、150周年の秘密をずっと探していました。校歌に誰が作ったとかあるではないですか。作詞のところにある方の名前がありました、この方はどこに住んでいる方なのかを探そうとしたら、明治か昭和か、時代は忘れたのですが、元その学校に勤めていた先生だったそうです。その出発点は、校長室に写真がいっぱい残っているので、それから探っていくって目星をつけて行くけれども、失敗をして当たらなかったということで、今度は地域のご意見番とか古い方に聞きに行ったそうです。そしてやっとその家を見つけたのですが、もう亡くなられているので、高齢だけど生存されている娘さんの所へ取材に行って話を聞くと、当然取材を受けた方もすごく喜ばれていました。そんな発表会を目の当たりにして、本当に地域学が進んでいるなということを肌で感じました。

### (3) 小中一貫教育について

今、校長面談をブロックごとにしているのですが、実態は違っているのですが、校長先生方がこの小中一貫教育で各学校の課題、ブロックの課題を共有していて、出口が一緒だったのです。その事で試行期間の去年と違って、校長先生方の言葉の中に成果が語られるのです。私も色々学校に行った時にも、やはり良い意味で変わってきたという意識が出て、それが校長先生の間のお話の中にもあるし、それを先生方が実感しているそうです。あと一つのブロックだけ終わっていないのですが、どのブロックも、校長先生方が嬉しそうに話をされています。これが小中一貫教育をしてきた、試行段階からやってきた成果だなどと思っています。今までだったら、小学校が3校あったらそれぞれ違うのですが、他人事だったものが他人事ではなくて、結局グループの中での課題認識になっているから、意識が共有されているので、「それはうちにもあるよ」とか、「うちのこういう取組はこちらでもできるのではないか」というように、そのグループの中で一般化されている取組が増えていて、聞いていても分かりやすい。今までブロックごとに面談をしたことはあるので

すが、点だったものが線から面になりつつあるなということを感じています。やはり一番嬉しかったのは、校長先生を初め、苦勞されてきたものが成果として、現場の先生が実感として満足されてやりがいを感じている姿を、私達はすごく感謝し、教育長として本当にありがたいなと思いました。それが今までの面談とは少し違って、グループごとにそういうのは違ってみんな良いという雰囲気が味わえるのはすごく嬉しいです。全然先生方の意識も変わってきて、それぞれ課題はあるのですが、課題も明確に語られていて、だから中学校の方も小学校の課題を踏まえて、こういう事を入れますみたいなことで相互に連携して、共有されている姿に本当に感銘を受けています。

この三つの点を踏まえて、今、教育委員会として進めてきたものが現場の中で実感を伴って、子ども達自身が変わってきているし、子ども自身が自分の成長を感じてくれているし、先生方も感じてくれています。これをもっと私達は発信して、「こんな風に子ども達の学びは変わってきているんだよ」と具体を発信することで、もっと地域の理解等、やはり一体型一貫校にも繋がっていくと思うので、今後、私達としてはそういう発信力を意識しなければいけないなということを感じています。是非来年度はそういう、小中一貫教育の具体のプレゼンが、例えばギャラクシーホールであるとか、市民の方も来ていただいて交流できるような場を、何かシンポジウムの的なものを作っていけたらと感じています。

#### 4 議事録署名人の指名（石井委員，山下委員）

#### 5 議事

##### 報告第8号 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について（教育総務課）

松尾課長 資料報8-2をご覧ください。この度、笠岡市走出にある坂本産業株式会社より、笠岡市の教育の振興のためにということで2,000万円の寄付をいただき、10月26日に感謝状をお渡ししたことを報告させていただくものです。坂本産業株式会社については、令和3年度より寄付をいただいております。今回の2,000万円で、教育委員会に対する寄付は累計で4,000万円となっています。今回の寄付についても、これまでと同様に笠岡市子ども教育振興基金に積み立てを行い、子ども達のために交流活動や体験活動等の教育活動に活用させていただき、多様な学びの機会の提供を行いたいと考えています。

岡田教育長 それでは、何か委員の皆様からご質問・ご意見はありませんか。  
教育委員 (なし)

岡田教育長 只今説明したように、基金をしっかりと活用して、子ども達が本当に交流・体験・地域探求活動に使えるような、子ども達の学びが豊かになるような形で、しっかりと活用するように学校とも連携していきたいと考えています。お金がないからなかなか行けないとか、講師も呼べないとかということにならないように、子どもに関わる教育に関してはできるので、しっかりと学校の方にも活用してもらいたいと思っています。具体的に、こういう風な活用をしているということについては、また報告をさせていただこうと思います。それでは、よろしいですか。

教育委員 (異議なし)

## 6 協議・報告

### (1) 笠岡市小中学校いきいきオープンスクールの実施状況について (学校教育課)

後藤参事 資料協1-1をご覧ください。いきいきオープンスクールの報告ですが、期間は11月1日から7日の間で、原則2日間で実施され、参加者は資料に記載のとおりです。協1-2には各校の集計した結果、令和4年度と令和5年度を対比できる表があります。市内で小中合わせて、2,249名の参加があり、昨年よりも206名の増加となっています。「成果と課題」に記載されていますが、今年度については特別な感染症対策もなくなり、しっかりと子どもの様子を見ていただくことができたのではないかと思います。参観日とは違って、休み時間等、授業以外の様子もしっかり見ることができて、ありがたかったという声を複数いただいています。子ども達はよく頑張っているとの感想も多くありました。それから、期間中に小中一貫教育に係る活動、例えば乗り入れであるとか地域学の発表を設定している学校が多く、来年度に向けてもそういう風に、意図的にこの時期に合わせて計画し、事前に保護者や地域の方に知らせていけたらと思っています。保護者以外の参加者、地域の方についても全体の3割の方が参加しておられますが、地域の方に学校の様子を見ていただく良い機会になっていると思っています。協1-3と協1-4には、各校での成果と課題を文書表記した結果が上がっています。

岡田教育長 それでは、何か委員の皆様からご質問・ご意見はありませんか。

石井委員 私は最後なので、13校ぐらい回らせていただいたのですが、中学校は今までどおり、新吉中学校や金浦中学校は非常に勉強態度も良かったように思います。今年は西中学校がかなり改善されて良くなっていたので、あのままでいってくれたら良いなと思いました。ある中学校では、まだ改善の途中かという感じを受けました。小学校の方は、低学年はどここの学校ともやはり元気で楽しく、大きい声で授業しているのが目立ちました。高学

年になると、かなり熱心にタブレットパソコンを使って勉強していました。吉田小学校と新山小学校では、机の前につけている物があって、机が少し広くなるのですか、かなり机がゆったり使えていたので、良いなと思いました。それから、ある小学校では、崩壊していた時よりは多少は良くなったのか、まだ分からないですが、かなり改善の余地があるなという気がしました。

東山委員 私も島しょ部と北川小学校以外は回りました。概ね授業については、落ち着いた雰囲気だと感じました。中には先程石井委員さんが言われたように、もう少し頑張ってもらいたいというクラスもありました。ただ、先生方はお疲れが感じられるぐらいすごく頑張っているのだと感じたのですが、先生方のサポートが本当に必要になっているのではないかと感じました。保護者の方の中でも、「すごく応援して温かく見守っているのです。」と言われる方達も多くて、先生方の心配は保護者の方からも声が上がってきていたので、何か手立てがないものかと感じました。具体的に少し気になったクラスも私はあるのですが、それはまた後日報告しようと思います。あとは生活面に関しては、コロナ前のように少し元気が戻ってきているというのをすごく感じました。子ども達も挨拶を、ちゃんと目を見て明るい声でしてくれる子が増えていって、すごく良いことだと感じました。あとは、図書室の司書の先生がすごく頑張っているのを感じていて、おそらく総合教育会議でも話題になった点があるからかなとも感じているのですが、どこかの中学校だったのですけれども、図書委員だったり生徒会だつたりを巻き込んですごく工夫されていました。

岡田教育長 笠岡西中学校でしょうか。

東山委員 笠岡西中学校も頑張っているのですが、たまたま司書さんに会えた学校があって、吉田小学校と一緒に司書の先生がいらっしゃる中学校です。

後藤参事 新吉中ですかね、あそこは吉田小学校と一つのチームですね。

東山委員 新吉中学校が、不登校のお子さんとか本好きの方が割と多いので、その子達のためにというアイデアを出して、ソファを置いて、すごくリラックスして過ごせる居場所作りみたいなこともしていました。あとは中学校に関しては、新制服の展示を全部の学校でしてくださっていたので、地域の方にもそういったことを知っていただける良い機会になったと思います。たくさんの方が来てくださって、すごく良い事なのですが、この成果と課題にもあったように、安全面については少し配慮しないといけないなと思いました。中には、校門を開けている学校ももちろん多いのですが、閉めている学校もあって、あえて心配なのだという声も、多分思いがあるように受け取りましたので、そこら辺の配慮を少し何か考えないとい

けないと感じました。

岡田教育長 先生の支援ということでは何か学校教育課でありますか。

後藤参事 先生方は色々な子ども達がいる中で、本当に努力されているなというのを目にしていて、人的なサポートであるとか物的なものでもあるとか、そういったところは精一杯やっつけようとは思ってはいます。特に中学校は落ち着いているのですが、小学校の高学年の辺りが少し落ち着きがない、生徒指導が少し難しくなっている現状もあるので、そういったところにてできるだけサポートをつけて、個別に支援ができるような人を、有効的に配置できるようにはしていきたいとは思っています。

岡田教育長 他に何かありませんか。

教育委員 (なし)

岡田教育長 今日面談をした笠岡西中学校は、今の段階で一人当たりの平均図書が20冊いっているそうです。

後藤参事 今年、学校司書の体制を新体制にしたのです。

岡田教育長 ちなみに、岡山市とか倉敷市の平均はもっと少なく、年間で多分10冊くらいでしたか、中学生が特に減るようになります。

後藤参事 今までは学校司書さんが一人で頑張っていたのですが、一人だと相談する相手がいなかったのが、今は3チームに分かれて、月1回集まってそれぞれ話し合う機会を持つようにしたのです。

東山委員 あともう一つ。東中の司書の先生ともお話ししたのですが、貸し出し数がなかなか伸び悩んでいるのだけれども、読みに来る子だったり、教室に置いて読んだりみたいなことも、利用はしているので、そこが数として上がらないという話がありました。

後藤参事 学級文庫もそうなのですが、そこをカウントするのかもしれないのかというところは、司書の先生方で統一してとは言っているのですけれども、子ども達の目に触れたものについてはカウントしていただきたいというのは話をしているのですが、その棲み分けが難しいですね。

東山委員 中学生は荷物が多いので、借りるまではいかないけれども、そこで読むとかということはする子は増えているような感じでした。

後藤参事 カウントのしかたについては、また相談しようかと思います。

## (2) 第19回木山捷平文学選奨作品募集結果について (生涯学習課)

石井課長 資料協2-1をご覧ください。本年度、第19回の木山捷平文学選奨の作品の、全ての部門の募集を締め切っており、結果を報告します。資料のとおり6部門からなっており、短編小説は、267作品の応募がありました。括弧内が昨年度の数字で、昨年度より45作品増で、過年度平均応募

数と比較しても増加に転じているものです。今後は、10作品に絞る予備選考委員会を12月1日に開催し、1月22日に本選考会というスケジュールで、慎重に審査を進めていきたいと考えています。続いて、随筆・詩・短歌・俳句・川柳の部門です。応募状況の増減傾向で言うと、随筆部門は応募が若干の減少にはなっています。詩は小・中学生の減ではありませんが、一般の部が増となっています。特徴的な事項として、今年度は、項目4から6の短歌・俳句・川柳の傾向として、昨年度までは高校生の作品は一般の中に入れて、優秀な作品である高校生特別賞というものを設けていました。ただし、今年度から高校生の応募者・応募作品数の、少しでも増加を見込む方策として、一般の枠から高校生の部を独立させて、なおかつ応募作品を、10首・10句1組のところを5首・5句1組として少しハードルを下げ、取り組みやすい分量とするという変更をこのたび試みたものです。結果としては、高校生の部のところを見ていただくと、大幅増という結果になっています。また、昨年度から設けている笠岡にゆかりがある人という枠、元笠岡に住んでいたとか仕事で勤めていたという枠については、随筆は0名でした。詩では3名昨年より増、短歌は横ばいで、俳句も増加、川柳については残念ながら応募者がなしという結果となりました。こちら、笠岡ゆかりの枠については昨年度から設けていますが、今後も続ける予定であり、引き続きアナウンスもしっかりしていきたいと考えています。短編小説以外は来年の1月11日に結果を発表し、最終的には3月3日に全体の部門の表彰式を実施するという予定、流れになっています。

岡田教育長 それでは、何か委員の皆様からご質問・ご意見はありませんか。

教育委員 (なし)

岡田教育長 高校生の応募が増えたというような取り組みの結果が良かったと思いますので、今後も進めていきたいと思えます。

### (3) 笠岡市中央公民館令和5年度まなびの発表会「集まれ・つながれ・学びの輪」の開催について(生涯学習課)

石井課長 資料協3-1をご覧ください。こちらは、中央公民館の行事の開催チラシ等です。今まで行っていた、中央公民館講座修了作品展と銘打った講座生の作品発表の行事を、3月初旬に2日間で行っていたものを、少しやり方を変えてみようという今年度のチャレンジとなっています。中央公民館講座は、座学のようなものを中心とした講座から、調理実習であるとか芸能部門まで幅広くあります。展示発表の部分ではなくて芸能発表では、市

民会館では舞台が少々広すぎるなどの事情もあり、発表はロビーコンサートのような形で今まで行ってきていました。そういった事から勘案して、今年度は文化祭・芸能祭要素を取り入れた形で、中央公民館の施設内、3階と4階という自ら学んでいる施設の中で施設をフル活用して、行事を実施していこうという企画にしたものです。1日限り、12月17日の実施ですので、一生懸命丹精込めて作品を制作した展示部門の作品展示が十分な期間で展示できないことから、この11月から中央公民館4階の一角に、常設展示コーナーというものを今は設けていて、展示の方にも1日だけではない、継続して展示ができるような場面、それから1か月交代をして色々な作品を提示していただけるような空間を、こういった企画と併せて実施をしているところです。お時間が許しましたらご来訪いただけたらと思います。

岡田教育長 それでは、何か委員の皆様からご質問・ご意見はありませんか。  
教育委員 (なし)

#### (4) 笠岡市立図書館移動図書館車「新カブトガニ号」のデザインのアンケート実施について (生涯学習課)

石井課長 資料協4-1をご覧ください。それから、本日は参考資料ということで、添付させていただいているカラー刷りのバスの絵がある資料も併せてご覧ください。昨年度からの、事業としては予算的には繰越事業ということで、2か年にわたって、移動図書館車を更新するもので、今年度末を事業完了とすることで新車両の準備を進めているところです。お手元の資料にもありますように下地の配色、今は黄色のような明るい色と、それからブルーの海の色、白色、ここは図書館で決めた後、ラッピングの部分等はデザインをのせていく図案の部分については案を3つに絞って、市内の児童生徒の皆さんにこの移動図書館車の取組について知っていただくこと、それから、その後も愛着を持ってしっかり活用いただくよう期待も併せて、小学生及び中学生を対象にしたデザインアンケートを実施することになりました。11月末をめどに、各学校を通じてクラスアンケートを実施していただきます。その後、回収・集計を経て大まかなデザインを決定した上で、最終デザイン作りをしていきたいと考えています。なお、今年度末までに納車をして、次年度早い段階でお披露目の、出発のセレモニーなどが開催できればと考えています。お手元の資料のデザインについては、デザイン1は図書館マスコットを前面に出した水玉模様の図案です。2番目はひまわりを配置したもの、それから図書館をイメージしたレンガの模様があしらわれているもの、それから3番目は、笠岡の海を意識した模様

として魚がいるというものです。特に1番と3番については水玉のところ  
に隠れカブトガニがいて、探してもらおうといった遊び心も入れていて、  
少しでも興味を持っていただける車両になるよう現在取り組んでいるとこ  
ろです。

岡田教育長 それでは、何か委員の皆様からご質問・ご意見はありませんか。

教育委員 (なし)

岡田教育長 3案の中から選んでいただくということです。また決まり次第、ご報告  
させていただきます。

#### (5) 笠岡市立図書館への国際ソロプチミスト笠岡の寄附について (生涯学習課)

石井課長 資料協5-1をご覧ください。こちら先月、10月25日に国際ソロ  
プチミスト笠岡から、読書推進のための図書購入に役立てていただきたい  
と、寄附額5万円を笠岡市立図書館に寄附いただいたものです。この寄附  
については、12月議会で補正予算計上にて対応予定で、議決後、年度内  
に児童書の充実のために活用させていただく予定です。「4. その他関連  
事項」にありますように、ソロプチミストも過年度、長い間図書館への寄  
贈もいただいている、現在、廃棄した図書等もありますが、収蔵冊数は約  
1,000冊近くあります。年度内に、図書館内に「国際ソロプチミスト笠  
岡文庫」のような文庫棚を今後設置していく方向で、現在調整中であるこ  
とを申し添えさせていただきます。

岡田教育長 それでは、何か委員の皆様からご質問・ご意見はありませんか。

教育委員 (なし)

#### (6) 学校規模適正化計画及び小中一貫教育推進計画について (学校教育課) 非公開

#### (7) その他

##### ● カブトガニ駅伝大会について (スポーツ推進課)

土屋課長 別紙で、カブトガニ駅伝大会の行事の案内をさせていただきます。毎年  
開催しているものですが、今年度も12月17日(日)に、笠岡太陽の広  
場の特設コースで開催することとしています。こちらは、べいふあーむマ  
ラソンやべいふあーむ駅伝と違って交通規制はありません。今年から変わ  
った点と言うと、参加チームを増やすために、昨年までは中学生以上が対  
象だったものを、今年度から小学生の部を新たに設けています。現在、地  
元の野球チームとかからも参加をいただいている、今年は賑やかな大会に  
なるのではないかと考えています。

岡田教育長 それでは、何か委員の皆様からご質問・ご意見はありませんか。

教育委員 (なし)

● 令和6年度教育委員会定例会日程について (教育総務課)

松尾課長 本日、机の上に、令和6年度の教育委員会定例会日程の案を置かせていただいています。毎月開催している定例会については、今年度と同様に第3金曜日を基本として考えています。6月・9月については、議会の日程との兼ね合いがありますので、第4週での開催を考えています。都合が悪い場合には、メール等で連絡いただければと思いますが、これは一応案という事で来年の日程を示したものです。

岡田教育長 開始時刻が変わる可能性もありますか。

松尾課長 とりあえず今年度と同じ開催時間としていますが、またそれは協議をして、開催時間については考えたいと思います。

岡田教育長 日程という事ですが、何か委員の皆様からありませんか。

教育委員 (なし)

● 令和4年度教育に関する事務の管理および執行状況の点検評価報告書について

(教育総務課)

松尾課長 当日配布資料として、令和4年度教育に関する事務の管理および執行状況の点検評価報告書を配付させていただいています。9月の定例会で、委員の皆様にはこちらの案について協議いただいて、加筆や修正を行った後、10月23日に評価委員会議を開催して、3名の評価委員の方に点検評価についての説明をさせていただいています。この度、評価委員さんから総合評価をいただき、点検評価の報告書が完成しましたので、お配りしています。評価委員からの総合評価については、58ページから64ページにあるので、またご覧いただけたらと思っています。評価委員全員より、総合的に概ね達成されたという評価をいただいています。また課題や改善点について指摘をいただくとともに、第三者としての視点から貴重な意見を多岐にわたっていただいているので、今後の教育行政の参考にしていきたいと考えています。

岡田教育長 点検評価報告書については、委員の方々の文書も載っているのですが、またご覧いただけたらと思います。何か委員の皆様からありませんか。

教育委員 (なし)

● 学校給食の残食状況について (給食センター)

宮所長 先月の教育委員会で、学校給食の残食状況を説明させていただいたのですが、昨年の10月までの平均と、今年になってからの10月までの平均

を比較することで少し補足説明させていただこうと思います。10月平均の横のところに、矢印を入れています。増加の場合は右上に向けて、減少の場合は右下に向いた矢印となっており、赤い印が入っているものは、その差が2%を超えているものと表示させていただいています。3%ぐらい増加しているところは新吉中学校、ここが少し増加が大きくなっています。それから3%を超えた減少は城見小学校、大井小学校、神内小学校、北川小学校、笠岡東中学校、笠岡西中学校、神島外中学校となっています。小学校も中学校も全体的には減少しているのですが、特に中学校は新吉中学校以外が全て減少に転じています。東中と西中においては、去年は30%を超えていた状況ですが、25%前後ぐらいまで下がっています。また、30%を超えた月があった中学校が、去年は笠岡東中学校で4回、笠岡西中学校で3回ですが、今年は今のところ笠岡西中学校の1回のみとなっています。全体的には減少しているものの、まだ笠岡東中学校も笠岡西中学校も、それから大島中学校も25%前後となっていて、今後も食育の指導が必要と思われます。小学校においても、笠岡小学校、中央小学校、大島小も20%近い事から、こちらの方も食育の指導の方に努めていきたいと思います。以上です。

岡田教育長 それでは、何か委員の皆様からご質問・ご意見はありませんか。

藤谷委員 学校によって、20%ぐらいの学校もあれば10%以下のところもあるのですが、これは例えば女子の児童が多い学校とか、逆に少ない学校とか、そういう因果関係とかいうのは特にないのですか。

宮所長 多少中学校になったら出てきます。小学校はそんなに変わらないのですが、小学校でも、女子が食べるクラスというのは、やはり残食は少なくなっています。

東山委員 オープンスクールで、給食の時間にちょうど遭遇して、生徒さんと話をする機会がありました。小柄な子が同じぐらいの量をつがれて、「私はこんなに食べられない」「でも、残すのも勿体ないし、ちょっと罪悪感を感じながら」という話をしたのですが、「でも、必要な栄養素が入っていて」という風な、給食の意味というものをお話ししたりすると、「しっかり食べなきゃいけないんだな。無理じゃないくらいまで頑張ります」ということを話してくれて、「良い事なんだよ、大事な事なんだよ」ということで、引き続きまた食育で、量の事だったり必要な栄養分について、しっかり給食を食べるということ続けるしかないのかなと思います。あとは家庭でも、好き嫌いがどうしても治らないお子さんはいると思うので、家庭も巻き込むように、給食だよりの裏面をしっかりと読んでいただけるような工夫ができればなと思います。

宮所長　　やはり学校の、1食だけの給食ではなかなか食育が完全にはできないとは思っています。女子バレーボールチームということで、金浦中学校で指導しているところなのですが、やはり女子については、運動部であっても給食を食べる量は少ないようです。ただ、必要な栄養素というところで、量を食べるのではなくて必要な栄養素を摂るという観点で食べていただければ、たんぱく質を中心に摂るとか、炭水化物でも必要な時に摂ってもらうとか、栄養という観点から食育の方を進めていきたいと思えます。

東山委員　　市役所のホームページに栄養素、朝ご飯は何を食べたみたいなのを打ち込んだりするようなソフトが何かありますよね。あれはどかが担当でしたか。何かああいったものも紹介したいなと思えます。

宮所長　　今はまだですが、グーグルホームの方で、食育指導の関係で子ども達にアンケートを、そこに入れてもらうことで自分達の傾向とか対策とかが分かるようなシステムを、来年以降になると思うのですけれども、今検討中ではあります。

東山委員　　大人用のものは栄養のホームページが確かあって、私も実際にやったことがあるのですが、関心があるご家庭なんかは、そういったところを紹介されると良いのかと思えます。

岡田教育長　　その他、よろしいですか。

教育委員　　(なし)

#### ● 令和5年度の卒業式について(学校教育課)

後藤参事　　コロナでここ3年ずっと、来賓の方等を学校にお呼びしていませんでした。今年度の卒業式について、コロナ前の元の形に戻すか、それとも少し形を変えていくかというところなのですが、他市の状況を見ると、赤磐以外はほとんど元の形というか、来賓の方をお呼びするような形になっています。笠岡の方も元の形に戻すということで実施したいと思っていますが、その辺でもし何かご意見をいただけたらと思えます。

岡田教育長　　いかがですか。

藤谷委員　　以前の形に戻して良いと思えます。

岡田教育長　　教育委員会から、主催者として式辞を読みに行くというのと、来賓をお呼びするということですね。

後藤参事　　そうですね。

岡田教育長　　他にご意見はありませんか。

石井委員　　良いのではないですか。

岡田教育長　　これはもう、その方向でよろしいですか。

山下委員　　これは平日でしたよね。教育委員会として出る事に関しては、例年どお

りということであれば特に異議はないのですが、個人的には申し訳ないの  
ですけれども、参加ができないと思います。

岡田教育長 具体のところは日程調整をさせていただきます。

東山委員 質問なのですが、コロナ禍で少しすっきりした卒業式、「なかなか良い  
ですよ」という声が耳には入ってきていて、その辺りも、私は元々の、普  
通の卒業式の時には参加しましたが、それはそれで厳粛なムードで良いな  
とは感じているのですけれども、そういったところを校長先生等の意見も  
聞かなくても、どうなのでしょう。

後藤参事 実は、学校運営協議会の方に本当にお世話になっているので、卒業式に  
来ていただいて、できるだけスリムな形にという考えは、校長会の方では  
意見の方は出ています。その辺は検討させてもらった方が良いのかと思っ  
ています。

森山部長 スリムなという事は、来賓は減らすということですね。

後藤参事 来賓を減らして行って、できるなら長い話というのは縮めて、その辺の  
ところは式の時間を短くしていくという考えです。

岡田教育長 参加していたのは、当然児童生徒、それから下学年の子ども達、それか  
ら教職員、これは参加しますね。下学年については、多いところは学級で  
視聴したり休んだりしていました。ただ、主催者という者が教育委員会か  
ら出るということに関してはよろしいですね。来賓はお呼びしても、来賓  
の方が色々と挨拶をされなければ良いだけの話なのか、来る人が多いの  
が、席を用意するのが大変なのかというところだから、挨拶ですね。そう  
したら、来賓の方は通常どおり呼んだとしても、挨拶するのを減らせば良  
いという訳ではないですか。それは学校が決められるのだから、良いので  
はないですか。

東山委員 学校の判断でいいということですか。

岡田教育長 コロナ前は、主催者は私達が行かせていただいて最初に式辞を読む。そ  
れは県立高校も一緒です。来賓の方は、学校が来賓としてお呼びするのを  
減らそうと思えば減らされたら良いと思うし、挨拶もどうするかは学校が  
決められるということではないですか。私も学校現場にいる時に減らした  
事もあるし、事前をお願いして、挨拶ををまとめて、3人言わなければい  
けないところを3年間で1人1回言えるようなローテーションにしたりと  
かできるので、そういう方法でも、式の時間というものは大分減らせてい  
けるかと思います。

東山委員 子ども達からしても、学校運営協議会に参加してくださっている公民館  
の館長さんだったり、知っている顔が並んでいると嬉しいという気持ちも  
とてもあると思います。

岡田教育長 小中一貫教育で、学校運営協議会というのは、つまり、コミュニティスクールをしているというのは、全てを学校に参画していただくためにしているので、式典に関しては見ていただくことが必要だと私は思うのです。ただ、それは挨拶するかしないかは別次元の話として、そこは全然問題ないと思います。

後藤参事 たくさん地域の方にお世話になっています。ここは学校の判断でということで良いと思います。

岡田教育長 来賓は、うちが「この人を呼んでください」ということを言った事はないです。主催者としては、今年行かせていただいて式辞を読ませていただくというのがありますが、長いと思うのだったら短くすれば良いことだと思います。式辞は学校教育課が作っているはずです。

後藤参事 できるだけコンパクトにします。

岡田教育長 短くて良いですから、そういう方向でさせていただこうと思います。その他、よろしいですか。

教育委員 (なし)

#### ● 登録有形文化財建造物の登録について（生涯学習課）

安東参事 11月24日に開催される文化審議会、国の文化審議会において、笠岡市に所在する建造物の新登録が更新される見通しとなっています。これは当然、11月24日の文化審議会という会議で決まる事柄ですので、現在報道規制がかかっています。記者にはこの事はもう伝わっていますが、11月24日17時まで報道の規制がかかっていますので、情報の取り扱いに注意をお願いします。物件としては、笠岡市神島にある長舗家住宅の3棟です。「1. 登録内容」のところにあるとおり、長舗家住宅母屋・内蔵・内門の3棟です。この長舗家住宅については、平成31年から所有者の方々に、今後の取り扱いについてご相談を受けていたところではあります。最終的に国の登録文化財に手続きを取って欲しいという要望を受けて、令和5年5月11日に登録の、いわゆる申請書のようなものを提出していました。そしてこの度、文化審議会で答申される見込みとなっているという連絡があったものです。ただし、正式な登録日は官報告示の日付となりますので、令和6年3月頃、正式の登録日となるものと思われます。右側のページに写真を添付しています。長舗家住宅母屋、そして内蔵、内門ですが、登録に至ったポイントは大きく三つあります。一つは、元々長舗家住宅は、江戸時代の末に建てられた庄屋さんの居宅でした。その当時は土間もあって、茅葺き屋根だった訳なのですが、その後、増改築を繰り返しています。しかしながら、梁や柱など建物の主要構造が残っているの

で、当初の家屋の、江戸時代の庄屋さんのお屋敷の形式を想定する事ができるという点です。そして二つ目、これが最も大きいのですが、主屋の母屋の西端にある座敷、こちらが明治末から大正頃、ここでは大正期ということになっていますが、大正期の改築と考えられています、この作りが一部に社寺建築の技術を使っており、大変丁寧な作りになっています。極めて経済的に裕福な地域の名士が作った近代の客間として評価が高いという風に評価されています。同じ時期に内門も整備されていて、質の良いお客様をお迎えする座敷の形式となっています。そして三つ目が、ご存知のとおり、長舗家住宅はお蕎麦を定期的に提供するという取組をしております。このように、建物の保存と活用の取り組みが同時に進められている点、こちらも高く評価されて、今回の登録となるものです。なお、反対側の面には平面図を添付していますが、この長舗家の建物全てが登録文化財となる訳ではなく、江戸時代から大正時代の、黒く塗りつぶした部分が今回の登録対象となっています。日本全国でこの度登録される見込みなのが、290件の建物ということになっていますので、全国的に見れば累計約1万4,000件の建物が、登録文化財となるということになります。岡山県下では、井原市の山成酒蔵と笠岡市の長舗家住宅の二つが今回登録になる見込みであり、笠岡市で申しますと、既に登録文化財として存在している真鍋家住宅5棟、これに次ぐ2例目の登録ということになります。

岡田教育長 何か委員の皆様からご質問・ご意見はありますか。

教育委員 (なし)

岡田教育長 これは報道規制の関係で、24日の17時まで公にしないようにお願いします。

岡田教育長 次回の定例会は、12月22日(金)18時30分からということになります。それでは、本日の定例会はこれにて終了します。ありがとうございました。